

令和4年11月30日

庄内町長 富 樫 透 殿

庄内町行政改革推進委員会  
委員長 小 野 英 一

令和4年度庄内町行政評価に係る外部評価結果について（意見書）

今年度、庄内町にて実施された行財政改革における内部評価結果及び行政改革の取り組みについて、町民の視点に立って検証した結果、下記のとおりまとめましたので意見書を提出します。

#### 記

1 委員会開催状況

令和4年11月15日（火） 第1回行政改革推進委員会

2 審議した事項

令和4年度庄内町行政評価及び行政改革の取組報告に係る外部評価について

3 委員名簿

小野英一、工藤 隆、土田 徹、長南美香、國本美鈴、伊計麻衣子

4 事務局

佐藤博文、阿部 聡、岡本由美

5 審議の結果

「令和4年度庄内町行政評価及び行政改革の取組報告に係る外部評価」の結果については、別紙のとおりです。

別 紙

1 審議の対象とした行政報告

令和4年度行政評価専門部会報告書

令和4年度行政改革の取組報告資料

2 審議にあたっての視点

本委員会では、町が行った内部評価結果や取組状況について審議のうえ、それぞれの事業に対し、今後の方向性を示しました。

(1) 第3次庄内町行財政改革推進計画の進捗状況について

(2) 今後の本町行政改革について

3 審議の結果

(1) 審議結果

区分	本委員会の評価結果
① 第3次 庄内町行財政改革推進計画 基本方針1： 行政のスマート化について	<p>決裁区分の見直しによる事務の効率化等、課題に対してできることから改善・対応されていることが認められる。なお、次の点について参考のうえ今後も行政のスマート化を進められたい。</p> <p><b>【公金支払い方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・納付漏れ対策になるうえ、カード利用者のポイント還元が期待されることから、クレジットカード支払いできる公金の拡大を図ること。</li><li>・町民の支払い手続きのしやすさを考慮し、自動支払機（会計室）は複数台設置を検討すること。</li></ul> <p><b>【行政からの通知】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・LINEによるお知らせはロック画面でもプッシュ通知が届いて意識できるように、テキストでのタイトルと画像入り詳細の2段階投稿にするなど、利用者の気づきにつながる工夫をすること。</li><li>・会議通知等、書面による通知が多いが、紙だと無くしたり処分に困ったりするため、電子データによる通知の方がありがたい人もいる。印刷や郵送にかかる経費や労力、タイムラグを減らすためにも、紙を希望する人以外は電子データでのやりとりをする等、通知や資料等の送付について改革を図ること。</li></ul> <p><b>【マンパワーの利活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・手続きをスマート化しても、行政のサービスが下がっ</li></ul>

		<p>てはいけない。機械だけで対応できない部分も出てくるため、ベテラン職員による窓口補助等、町民が必要とする場所に必要なマンパワーを配置することで課題解決を図ること。</p> <p><b>【事務作業の効率化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で新技術の便利さや成功体験、工夫などのノウハウ・事例を共有して業務改善につなげること。</li> <li>・行政事務の量も質も重くなっていることは外部からみても感じる場所である。町民の利便性も大切だが、職員がいかに効率的にできるかを考慮して持続可能な方法に業務改善を図ること。</li> </ul> <p><b>【スマート化全般】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を経て社会も新しい環境に変わってきた。行政のスマート化をどこから、何から始めるべきかは町民としても考えるのが難しい。この先もできることから進めていただきたい。</li> </ul>
②	<p>第3次 庄内町行財政改革推進計画 基本方針2： 持続可能な財政の運営について</p>	<p><b>【全般】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の収益性を高めないことには活性化は難しい。様々な自治体を見ても、元気なところは元気な部分を必ずもっている。商工業に限らず、町民が何を望むかをキャッチして国の大きな流れに沿った目線で有効な行財政運営を図ること。</li> </ul> <p><b>【財政指標公表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民に対する公表は数字だけでなく、本当の意味で内容を理解できるような広報を図ること。</li> </ul> <p><b>【ふるさと応援寄附金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国で取り合いになっている状況。職員からもアイデア提案や意見を募るなど、魅力的な返礼品で寄附の増額につながる対策を図ること。</li> </ul>

(2) 今後の本町行政改革について

審議を進めていく中で、全体的な視点から次のような意見がありました。

①地域ポイント

自治体マイナポイント等を活用した地域ポイントが活用できるしくみを、行政と商工分野、保健福祉分野等の多分野で広く進めることにより地域活性化を図ること。

②人口減少と地域社会の変化

地域によっては除雪の助け合いが行われているが、市街地では自分の生活場所は自分でという地域性になってきている。地域の寺掃除などの行事も若い参加者は減り、維持継続の将来性が見えない状況になっている。

人口減少については、「考える」時期を乗り越えて「動く」時期に入っている。地域の自然環境などを守りたい思いはあるが、このまま人口減少が続けばコンパクトシティにならざるをえない。そのような可能性も見据えた行財政設計と事業により、持続可能な庄内町の実現を図りたい。

③職員のモチベーション向上

職員の離職やモチベーション低下が課題となっている。仕事をする大きな理由は給料とやりがいであり、それに伴う評価も効果的と考える。町民から高度なことを求められたり、業務が増えたりする中で、職員の給料の見直しもひとつの対策と言える。

「やってあたりまえ」という考え方は若い人には届かなくなっている。役場の中でどんな言葉が若い人に届くのか調査・研究することで、町内の若者にも届く言葉を模索する機会にもなるし、コミュニケーション向上にも資すると考えられる。

給料の見直しは難しいと思われるが、職員表彰制度の活用等、周囲に認められる機会・場所等の構築で職員のやりがいにつながる対策を図りたい。

④役場の業務環境

真夏に役場を訪れた際、暑そうに業務する職員が目にとまった。節電や経費削減も大切なことではあるが、効率的で正確な業務を執行するためにも、適正な職場環境になるよう配慮に努めること。